

平成20年度 地方の元気再生事業 事業実施調書

(1) 取組名	「アメリカ in SASEBO」コミュニティ環境構築による地域活性化			
(2) 実施団体	佐世保三ヶ町商店街振興組合	(3) 対象地域	長崎県佐世保市栄町・常盤町・松浦町地区	
(4) 代表団体		(5) 推薦団体名	佐世保市	
(6) 実施した取組の内容	取組①	「アメリカ in SASEBO」情報を流通させる取り組み		
	実施主体	三ヶ町商店街振興組合		
	実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果	
		<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容: 10月から商店街空き店舗に情報拠点となる「アメリカ in SASEBO」ステーションを設置し、情報流通の実証実験を行う。 ・実施時期: 平成20年10月1日～平成21年1月31日 ・実施場所: 三ヶ町商店街 ・取組の目的: 在住米国人や観光客に、まちなか情報サービス、Web、紙媒体による情報発信を行い、街中の関心を高めて集客交流を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容: 10月から商店街空き店舗に情報拠点となる「アメリカ in SASEBO」ステーションを設置。 ・実施時期: 平成20年10月1日～平成21年1月31日 ・実施場所: 三ヶ町商店街 ・取組の結果: 在住米国人に対するまち案内や観光案内をサポートする施設がなかったため、それを解消すべく、情報ステーションを開設し、併せてホームページや情報誌により情報を発信。情報ステーションでは、パンフレットや映像等による情報提供の他、常設スタッフによる対話形態の情報受発信を実施。外国人等に情報サービス事業の事業評価及び新たなニーズ調査をした結果、コミュニケーションの必要性を改めて認識した。また、地元企業の協力を得てステーション内で佐世保バーガーに次ぐ新しい名産品を目指してアメリカンホットドッグ(佐世保ホットドック)の販売を行い、好評により新聞等のメディアにもとりあげられた。 	
	取組②	英語コミュニケーションが図れる商店街の運営スタイルの構築		
	実施主体	三ヶ町商店街振興組合		
実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果		
	<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容: 商店街従業員及び子供たちを対象とした英会話教室の開催並びに英語表記の徹底。 ・実施時期: 平成20年10月1日～平成21年1月31日 ・実施場所: 情報ステーション及び三ヶ町商店街 ・取組の目的: 商店街スタッフの接客英語の取得及び次世代のまちづくりを担う子供たちの英会話力のアップ並びに英語表記の充実により、外国人にも利用しやすいまちづくりを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容: 商店街従業員及び子供たちを対象とした英会話教室の開催並びに英語表記の徹底。 ・実施時期: 平成20年10月1日～平成21年1月31日 ・実施場所: 情報ステーション及び三ヶ町商店街 ・取組の結果: 商品説明や販売シーンに特化した英会話教室を開講し、商店街スタッフの実践英会話力の取得を図った。また、商店街を在住米国人と地域住民の交流の場として活用するのに必要なコミュニケーションツールとして重要な言葉のスキルを高める必要性から、幼稚園から小学生を対象とした英会話教室を実施。また、ハロウィーンやクリスマスパーティ等のイベントを通じて、文化交流を図るとともに英会話力を高めた。次に、約20店舗に「アメリカ in SASEBO」のステッカーを掲示するなど、英語表記の充実に取り組みむも、各個店の理解等の問題もあり、苦戦した結果となったものの、次に繋がる合意形成が図られつつある。 		
取組③	「アメリカ in SASEBO」文化を活性化する取り組み			
実施主体	三ヶ町商店街振興組合・佐世保玉屋百貨店			
実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果		
	<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容: 年間を通してアメリカンテイストのイベントを開催。 ・実施時期: 平成20年10月1日～平成21年1月31日 ・実施場所: 三ヶ町商店街・佐世保玉屋百貨店 ・取組の目的: イベントの開催を通して、商店街への関心を高め来街者の増を図る。また在住米国人に呼びかけ参加型のイベントとすることで、その効果を検証する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容: 年間を通してアメリカンテイストのイベントを開催。 ・実施時期: 平成20年10月1日～平成21年1月31日 ・実施場所: 三ヶ町商店街・佐世保玉屋百貨店 ・取組の結果: アメリカンテイストのイベントを開催し、市民のみならず地域在住米国人も参加できるイベントを開催。主なイベントは、ハロウィーン、オーガニック体験教室、ダウンタウンミュージックライブ、フラダンス教室、ちびっこオン・ステージ等。イベント案内やイベント募集の効果は高く、商店街への集客力アップや質の高いイベント展開につながり、これまでにない商店街の賑わいが生まれた。また、イベントを通じて、米海軍をはじめ、コミュニティ団体や農業事業者との連携が図れた。 		

	平成20年度の取組実施における体制・役割分担	取組の実施を踏まえた反省点	
(7)実施体制	<p>・プロジェクト統括委員会 佐世保三ヶ町商店街振興組合及び佐世保玉屋百貨店が主体となった運営体制を構築し、米軍基地広報・日米協会・米国領事館等と連携して事業を遂行。各団体の役割分担は、下記のとおり。</p> <p>○佐世保三ヶ町商店街振興組合 全事業に対して、主体となって担当。</p> <p>○佐世保玉屋百貨店 「アメリカ in SASEBO」文化を活性化する取り組み事業の一部事業について、主体となって担当。</p>	<p>・取組み①情報ステーションの運営については、佐世保三ヶ町商店街振興組合が新たに雇用したステーションスタッフが中心となり担当。米軍基地広報と連携して広報活動を実施。</p> <p>・取組み②英会話教室の実施に関しては、佐世保三ヶ町商店街振興組合が新たに雇用したステーションスタッフ並びに外国語指導助手(ALT)の協力を得て、計画的に実施した。</p> <p>・取組み③各イベントに関しては、佐世保三ヶ町商店街振興組合が新たに雇用したステーションスタッフを中心に、企画・立案し、委員会の承認を得て実施。また、イベント開催時においては、外国人並びに一般のボランティアや長崎県立大学の学生の協力を得て実行したことで、新たな地域連携を創出。</p> <p>・プロジェクト統括委員会は、上記各取組みの実現に向け、関係者間の調整やスケジュール管理を含む全体マネジメントを担当。取組内容、スケジュールともに滞りなく計画通り実施。また、情報提供や情報発信において、観光コンベンション協会と協調した取り組みを持てた。</p>	
(8)取組により得られた成果	○成果1→	新規開設予定の「アメリカ in SASEBO」情報ステーション利用者数	
		H19	H20(当初予定していた目標)
		なし	開設予定H20年10月から21年1月迄4ヶ月で4000人
		H20(実際に得られた成果)	
		・平成20年10月1日～平成21年1月31日までの利用者数は、目標を大きく上回る延べ11,000人が見込まれる。(目標達成率:275%) なお、12月末までの利用者のうち、情報案内質問者数は、外国人347名(63.2%)日本人202名(36.8%)。全国からの視察も多く、基地の街の取組みとして注目され、認知度も上がった。	
	○成果2→	1.英会話学習会参加者数 2.まち全体で英語案内表記を増やす	
		H19	H20(当初予定していた目標)
		1.なし 2.英語案内表記店5.7%	H20年10月から21年1月迄4ヶ月 1.英語学習参加者延べ約500人 2.英語案内表記店を全店舗の70%とする
		H20(実際に得られた成果)	
		・1.商店街従業員向け英会話参加者は、1回10名×12回＝延べ120人。子供向け英会話参加者は、1回20名×20回(400名)に加え、課外授業としてハロウィンパーティやクリスマスレッスン(120名)を行い、21年1月末までには延べ520人が見込まれる(目標達成率:104%)。 ・2.英語案内表記店は、20店舗(全店舗の40%)と、苦戦した結果となったものの、次に繋がる合意形成が図られつつある。	
○成果3→	イベント時の通行者数を増加させる。		
	H19	H20(当初予定していた目標)	
	平日11,000人 休日9,000人	平日12,000人(109%) 休日12,000人(133%)	
	H20(実際に得られた成果)		
	・休日にイベントを開催することが多かったため、「イベントを開催しない日」と「イベントを開催した日」の通行量調査を行い、「イベントを開催しない日」は11,400人(目標達成率:95%)、「イベントを開催した日」は15,000人(目標達成率:125%)と、事業効果は期待どおりであったものの、イベントを開催しないときの通行量の増を図る必要がある。		

<p>(9)今年度の取組成果や活動を踏まえた反省点、改善点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・20年度 of 取組みにより得られたデータをもとに、高いニーズの店舗情報、外国人が日常生活を送るうえで必要な情報など、更に充実した情報提供ができる高度な情報発信基地を目指す。 ・商店街スタッフの実践英会話力のスキルアップは一定の成果はあったものの、商店街や百貨店の強みである対面販売に必要な英語によるコミュニケーション力や高い文化の理解を、これまでの言葉の障壁を乗り越えた国際的な商店街を目指す。また、今年度は、各店の英語表記が目標に達しなかったため、引き続き理解を得られるようその方策を工夫して努め、目標到達を目指す。 ・イベントは、異文化受け入れをテーマにアメリカンテイストのものを企画し実行したが、真の国際交流を図るフィールドとして商店街のポテンシャルを上げるためには、日本の異文化にも興味を持ってもらい慣れ親しんでもらう方策を検討し、実行する必要がある。 ・今年度は特に在住米国人をターゲットに事業展開したが、少子化により外国人労働者も増えていくことを想定して、次年度以降はより国際色を強めつつ、日本の風土・文化を維持して伝え、外国人との相互理解のもと、街づくりに取り組んでいく必要があると考える。 ・米軍及びその関係団体に留まらず、今年度築けた日米協会や米国領事館等との新たなパイプを活用して連携を図る。 ・観光振興の一翼を担うべく、県外からの集客も併せて成果を上げる必要があり、体験型の観光資源を発掘または創出する。 ・商店街の売上増に寄与する施策を戦略的に構築する。 	
<p>(10)平成21年度以降の活動の見込み</p>	<p>当初提案に予定していた平成21年度以降の展開</p>	<p>今年度の取組状況を踏まえた平成21年度以降の活動の見込みと活用を希望する支援制度</p>
	<p>1.「アメリカ in SASEBO」情報を流通させる取り組み(H21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米国人意識調査を実施。意識調査をもとにまちの改善を推進。 ・情報ステーションの活用を推進。 	<p>1.「アメリカ in SASEBO」情報を流通させる取り組み(H21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体: 佐世保三ヶ町商店街及び佐世保玉屋 ・20年度に実施した取組みにより得られたデータをもとに、精度の高い情報を発信する拠点とする。 ・商店街や地元企業と協力し、当該企業の売上につながるような情報を発信する。 ・商業的な情報だけでなく、文化面での情報発信にも力をいれる。 <p>[活用を希望する制度: 上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額1,800万)]</p>
	<p>2.英語コミュニケーションを図れる商店街の運営スタイルの構築(H21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街スタッフが英会話のできる体制を作る。 ・次世代のまちづくりを担う子供たちの英会話講座開設。 	<p>2.英語コミュニケーションを図れる商店街の運営スタイルの構築(H21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体: 佐世保三ヶ町商店街 ・販売シーンに特化した英会話を実施するのはもちろんのこと、日本との文化の違いを学び、言葉の壁を超えた接客ができるような英会話教室を開催する。 ・商店街だけに留まらず、地元企業から等、幅広く受講者を募集する。 ・英語表記については、各店舗理解が得られるような方策を工夫し、引き続き実践する。 <p>[活用を希望する制度: 無し(自主財源によって実施予定)]</p>
	<p>3.「アメリカ in SASEBO」文化を活性化する取り組み(H21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカンテイストイベントの開催。フラダンスなど日米参加型の集客力の高いイベントを実施。 	<p>3.「アメリカ in SASEBO」文化活動活性化する取り組み(H21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体: 佐世保三ヶ町商店街及び佐世保玉屋 ・アメリカンテイストのイベントだけでなく、ジャパニーズテイストのイベントを開催し、日本人と外国人の双方が互いの文化に親しむことのできるイベントを開催する。 ・スポーツ大会や文化サークルなど、日本人と外国人との新たなコミュニティの形成に繋がるようなイベントを開催する。 ・20年度に実施した取組みにより得られたデータをもとに、商店街や地元企業と協力し、集客力の高いイベントを開催する。 <p>[活用を希望する制度: 上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額400万)]</p>
	<p>当初提案になし。</p>	<p>4.観光を主体とした商店街活動を活性化する取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体: 佐世保三ヶ町商店街及び観光コンベンション協会 ・米軍及びコンベンション協会と連携して、体験交流型観光の実現を目指し県外からの集客を図る(例: 米軍基地見学ツアー、外国人パーツアーなどを実施) ・空き店舗を利用して米軍の払い下げ品の店など、基地の街らしい演出のできる店舗の創業をサポートする。その際、商工会議所の企業家支援事業との連携を図る。 <p>[活用を希望する制度: 上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額300万)]</p>

◆主な実施取組の内容◆

「アメリカ in SASEBO」情報を流通させる取り組み
実施主体:佐世保三ヶ町商店街
実施内容・結果:

在住米国人に対するまち案内や観光案内をサポートする施設が不在

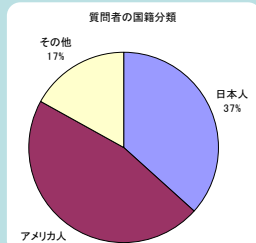
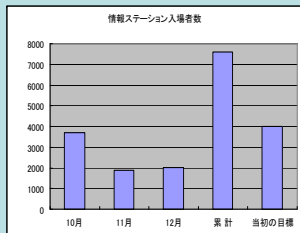
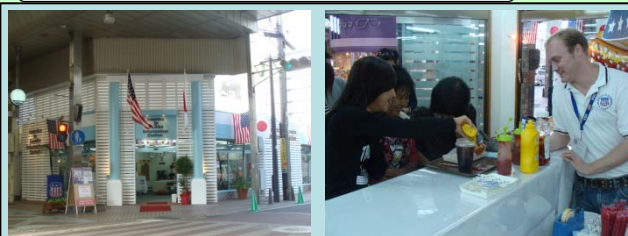
背景

- ①情報ステーションを開設
- ②ホームページや情報誌により情報
- ③独自ブランドとして佐世保ホットドックを販売

事業

コミュニケーションの必要性を実感

結果



英語コミュニケーションが図れる商店街の運営スタイルの構築
実施主体:佐世保三ヶ町商店街
取組の内容・結果:

在住米国人等への接客やコミュニケーションが不十分

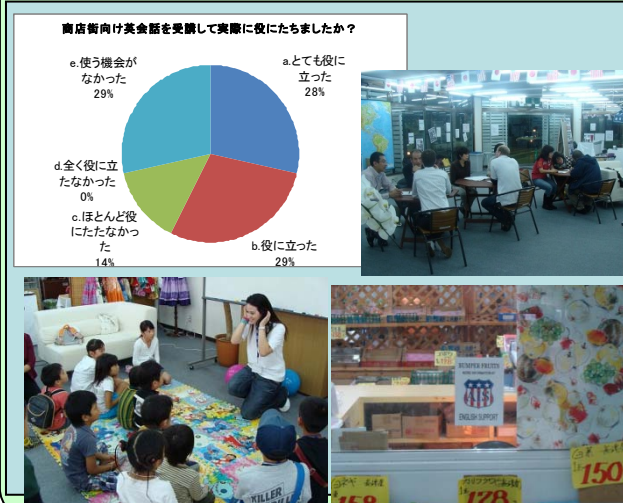
背景

- ①商品説明等に特化した英会話 教室を開講
- ②児童向け英会話教室を開講
- ③英語表記の充実

事業

日常におけるコミュニケーションの充実

結果



「アメリカ in SASEBO」文化を活性化する取り組み
実施主体:佐世保三ヶ町商店街、佐世保玉屋百貨店
実施内容:

在住米国人等との交流機会が少ない

背景

アメリカンテイストのイベントを開催

事業

商店街への集客力アップにより、商店街の賑わい回復に貢献

結果



◆取組実施による成果・今後の展開◆

20年度の取組みにおいて、地元企業、大学、観光コンベンション協会、米軍基地等の多方面の分野の繋がりを築くことができた。引き続き事業を取り組むに当たって、前回の取組みで形成された連携をさらに広げ、より充実した情報提供ができる高度な情報発信基地を目指す。

それに加え、体験交流型観光の実現を目指し県外からの集客を図る。(例:米軍基地見学ツアー、外国人パーツツアーなどを実施)